

【施策評価調査】

施策名	1-4-2	市街地配水管網整備事業		78	政策を推進するには、より安心な水道水の供給が必要であるため ① より安全な水道水の供給……老朽管による漏水の解消 ② より安定した水道水の供給……配水管網の整備による水量・水圧不足の解消 ③ 顧客満足度の高い水道事業の運営……モニター制度導入による公聴の充実 以上の事を解消する事により、安心した水道水を供給します。当施策は、②の観点から実施します。
	担当部課	建設産業部 上下水道課	担当 リーダー		
環境変化	特になし				施策内容 より安定した水道水供給のため、他の公共事業と連携を図りながら、複数の給水管を一つの配水管に整備し、水量・水圧不足の解消に努めます。

■指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①:水量・水圧不足解消進捗率(%)	対象配水管総延長	計画		5.9%	17.6%	29.4%	41.2%
	10,000m	実績		↑ 16.3%	↑ 39.4%	↑ 43.6%	
指標②:		計画					
		実績					
指標③:		計画					
		実績					
◆◇ 指標に関する特記事項 ◇◆	配水管の整備累積進捗率となっています。平成21年度末 4,357.74m(配水管整備累積延長)÷10,000m(配水管整備全体延長)=43.58%						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	0	24,200,000	30,710,000	27,589,000	
	決算	0	23,068,500	56,059,500	23,215,500	

■事務事業事後評価 21年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
①宝積寺地区配水管布設事業	当初 15,819,000円	配水管布設工事延長	A	給水管を配水管として整備することで、水量・水圧不足が解消され、又耐震性の高い配水管を布設することから、地震等の被害を最小限にすることができ、より安定した水道水の供給ができた。			
	決算 11,854,500円	415.10m / 300m		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
②区画整理地区 配水管布設事業	当初 11,770,000円	配水管布設工事延長	A	区画整理事業にあわせて、配水管を整備することで水道の普及拡大ともに住環境の整備が図られた。			
	決算 11,361,000円	608.28m / 587m		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
③	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
④	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
⑤	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

■施策事後評価 21年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
	他事業と計画的に事業を推進した結果、施工延長を延ばすことができた。 本管から分岐した複数の給水管を整理することで、各戸への給水が安定し、併せて管の維持管理が容易になりました。	今後も、右縄セメント管更新事業と関連する区域を優先的に実施し、下水道工事とは同時施工とし、工事コストの削減を図ります。
総合評価	継続的に施策展開されていると評価する。 後期計画に向け、関連する他の施策との整合を図った上で、連携のとれた施策展開をするともに、財政状況を勘案した整備計画を策定すること。	